

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	3	学校名	西の京高等学校
----	---	-----	---------

1. 取組名 「ひまわり隊」活動の活性化と地域連携プロジェクト

2. 活動内容

「ひまわり隊」は、活動を始めて3年目の生徒による自主活動。活動内容は、「放課後、隊員の訪問を希望する高齢者宅を、高校生2、3人が訪問し、お話をして交流する」というもの。

4年前、地域創生コースの2年生徒が受講する「課題研究」という授業で、六条地域の高齢化問題を考えていたグループが、「見守り隊A（エース）」と命名して、活動を計画したのが、そのはじまり。3年前、3年生になった「見守り隊」隊員たちは、六条校区自治連合会の定例会でアピールし、訪問先を募り、活動を開始。それとともに後継者育成を行い、1年生を誘って一緒に活動することで、活動のノウハウを教えていった。

2年前、2年生になった隊員たちは、隊名を「ひまわり隊」と変更した。どんどん訪問活動を行い、訪問宅8件、年間延べ20回の訪問活動を行った。活動の原動力になったのは、高齢者の方々の人生経験の深さ。隊員たちは口々に言う。「文句なしに話が面白い。」「行けば喜んでくださる。」だから、また行きたくなる。

「課題研究」の成果を、地域の方々や本校生にむけて発表する「地域フォーラム」で、この活動を発表したところ、多くのお褒めの言葉とともに、アドバイスをいただいた。そのなかに「聞いた話の記録を取り、まとめてはどうか」とあった。そこで、県の助成を得て、リーフレットを作成した。さらに、高齢者の方に講師になってもらって、講演会を催した。（写真はその一場面）

活動3年目の現在、隊員は14名。今後も「ひまわり隊」は、高齢者の方々との交流を大切にしながら、さらに活動の幅を広げていきたいと思っている。



3. 成果と課題

今年は、高齢者宅の訪問活動に加え、隊員を2グループ、リーフレット作成班と、講演会実施班に分けて活動した。上級生が下級生とともに活動することで、今までの活動で得た様々な知見を伝え、下級生のスキルアップに繋がった。

リーフレットを使っでの広報活動によって、訪問宅が増えることが予想され、上級生の卒業に伴う隊員数の半減を補うべく、新隊員の勧誘が喫緊の課題。また、第2回講演会を計画・実施することが望まれる。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

従来の「ひまわり隊」は、訪問活動を主としていたため、今年は新たな活動が加わり、忙しくなった。しかも、3年隊員が多いため、進路決定のための学習や受験と重なり、進路の決まった者から、活動に多くの時間を割いてくれた。本当によく頑張ってくれたと思う。次年度は、2年隊員が主体となるので、訪問活動にじっくり取り組ませながら、勧誘する予定の1年生を育てていく。「ひまわり隊」が長く存続して、少しでも地域社会のお役に立つことができれば望外の喜びである。